

この春小学校を卒業して中学校に入学した市内の中学生はおよそ三〇〇人います。新しい生活にも大分慣れ、夏休みに突入！「ふっ」と息を抜き終え、八月末に二期期がスタートしました。

さて、中学一年生になると「中一ギャップ」なるものを通過しなければなりません。何も意識しない人であれば、大変な思いをして通過する人もいます。では「中一ギャップ」とは何でしょうか？文部科学省のHPを見ると「新しい環境での学習や生活へうまく適応できず、不登校等の問題行動につながっていく事態」と記載されています。この背景として小中学校での学習指導面や生活指導面に加え、上級生や教職員との人間関係の違いがあると述べています。その中で特に気を配りたいことは人間関係（中学校では先輩、後輩、教職員との人間関係）を克服することです。

中学校では当たり前の先輩・後輩（異年齢）の関係。その中に身を置かなければ、理解できないこともあり、かくも大人と言われる私たちが当たり前に身を置いてきました。そうなる、小学生では地域のスポーツ文化・活動（のびのび興譲館、ポニースカウトや神楽教室など）への参加、中学校では、やはり部活動の参加がその機会となるでしょう。

ここで話を中学校の部活動に限定して考えます。それでは、部活動を通して得られるものは何でしょうか？先ほどからも述べていますが、先輩・後輩の人間関係を体験する良い機会なのです。同じ目標で同じ競技を通して活動できる。保護者の考えを聞き、自分の意志で決め入部し活動する。運動・文化部でも厳しい練習があり、つらいこともあります。自分が好きで選んだ部活です。少々苦しくても、必死になってやり遂げようと思えます。そして、その先にあたる達成感・充実感を味わうことができるのも部活動の良いところですよ。

このような経験は何物にも変え難いことではないでしょうか？確かに先輩・後輩の関係で悩んだり、ましてや、同学年の仲間や顧問教師との関係、全てにおいて順応してうまく関係を築くことが少ないかもしれません。それは、社会に出ても同じことです。苦しいけれどもどうやってその苦しさを解消していくのか。プラス思考で考え、乗り越えるにはどうしたらよいか。やはり一度経験しなければ分からないことかもしれません。悩むより慣れた方が早いという言葉もあります。少々の苦労は人生におけるスパイスです。ぴりつと辛みの効いた、ワサビだとおもって、味わってみるくらいの心意気が必要ではないでしょうか。



毎月第1日曜日は「家庭の日」
毎月第3日曜日は「青少年を育む日」です。
青少年育成都留市民会議編集委員

連載・青少年健全育成シリーズ 第266回

「人生のスパイス」

広報「つる」広告募集！

あなたのお店の広告を広報つるに載せてみませんか？
広報「つる」は、都留市内の各家庭に配布されています
(10,500部発行)ので、多くの方の目に触れます！

問合せ：行政管理課 秘書広報担当

広告料金

掲載場所	印刷色	金額 / 枠	備考
裏面	カラー	20,000	2カ月掲載
内面	2色刷り	10,000	2カ月掲載

掲載月は、①1・2月②3・4月③5・6月④7・8月
⑤9・10月⑥11・12月の6パターンとなります。
掲載状況につきましては、下記をご参考としてください。
また、詳細につきましては、ぜひお問い合わせください。

広告掲載欄

広告掲載欄